

令和5年度半田市中心市街地活性化市長特任顧問評価委員会 要旨録

開催日時	令和5年12月26日(火) 10時～15時
開催場所	半田市市民交流センター3階ホール
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 挨拶 2. 活動報告及び現地視察 3. 地域関係者との情報交換 4. 評価結果発表 5. 意見交換
出席委員	(評価委員) 半田商工会議所副会頭 水野貴之、総務省地域力創造アドバイザー 高尾忠志、内閣府地域活性化伝道師 松井洋一郎、半田市副市長 山本卓美、半田市企画部長 山田幸、半田市市民経済部長 大山仁志 ※敬称略
その他出席者	(地域関係者) 半田市商店街連合会会長 野々村照義、半田商工会議所専務理事 小柳厚、半田市観光協会事務局長 榊原 宏 (オブザーバー) 半田市長 久世孝宏 ※敬称略
次第	議事要旨
【挨拶】	(市長) 皆様大変お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。特任顧問に就任いただいて1年が経過しました。前例がない初めてのポストで、どう評価していけばいいか難しいと感じています。行政職員だけが評価するのではなく、民間からの評価委員のご意見やアドバイスをいただきながら、皆さんと一緒に、特任顧問というポジションをさらにブラッシュアップしていくような会にしたいと期待しています。よろしくお願いいたします。
【活動報告】	(特任顧問) 半田市中心市街地活性化への取り組み状況について、以下の項目を順に説明 <ul style="list-style-type: none"> ・当初に描いた目標・イメージの振り返り ・まず取り組んだこと ・年度始めに描いたロードマップの確認 ・今年度取り組んできたこと ・今年度の取り組み成果・課題 ・推進上の課題・問題意識
【現地視察】	・知多半田駅前ロータリー、おおまた公園を視察
【活動報告への質疑・意見交換】	(高尾委員) ・半田を知多半島で選ばれる街にしていくためには、半田らしさ、半田はこういう街と一言で言えるような、他の街との差別化のイメージやコンセプトを立ち上げる必要があると感じた。どこかで議論していけるといい。
	(水野委員) ・この1年間よくやっただいていて感じる。4月からの本格スタートに向けて準備が進んでいる。実現に向けた組織や仲間が、様々な年代構成で進めていけることに期待が持てる。「若い人のために」をキーワードに、続けていくことが大切。民と官で一緒に進めていきたい。諦めずにご指導いただきたい。

	<p>(松井委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間の活動がわかりやすくまとめられていた。なぜ中心市街地を活性化しないといけないかについては、市報にわかりやすく記載されていた。 ・取り組みに対して数値目標があると良いのではないかと感じた。 ・既存店舗・事業者さんの実態調査を岡崎では毎年行っており、良い効果が出てきている。すぐにではなくても調査できると良いと感じた。
<p>【地域関係者との情報交換】</p>	<p>■この1年間で変化を感じたことがあれば教えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街が少し疲弊していたが、関わりが良くなったように感じる。 ・JR 半田駅周辺の連続立体交差事業を推進していく立場として、特任顧問が参加したことで、将来イメージや進め方の部分で活力を生んでいると感じる。 ・街が変化する中で、事業者の数が減り、街の活力が失われつつある。今回様々なプランやワークショップを重ねる中で、商業者だけでなく多様な人が集まってきていることが大きな変化だと感じる。 <p>■半田の中心市街地がこういう街になってほしい・こういう店が増えてほしい、というイメージがあれば教えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前の商店街は様々な業種があり生活に困らない程度の店があったが、今はそうではない。どういう業種が来てほしいかを考えたことがなかった。 ・将来ビジョンは、楽しくなる街がいい。ふらりと立ち寄れる喫茶店があるといい。若者が来てチャレンジショップができると面白いと思う。 ・商業形成は必要だが、もう少し幅広く考えてビジネスを生むような街にしていくこと。ここで商売を始めた人が雇用で関係人口を増やしていく、可能性を高められる街として中心市街地が活かされていくと、創造性が高まる地域になっていくと思う。 ・運河エリアは、非日常を感じる空間。足りないものは宿泊施設。非日常の時間を楽しむための宿泊施設が半田駅・半田運河界隈に創出されると、多様性がある地域になる。その利用者や住民の消費を満たすようなバラエティ豊かな商業施設ができていけば、経済の循環としてはいい方向に行くという期待を持っている。 <p>■若い世代の事業者の中で、リーダー的な人材はいますか。その人と特任顧問とはどのような関係ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人に商店街の役員を頼みに行くとなかなか引き受けてもらえない。もう少し誰かがリーダーをやってくれるといいと思っている。特任顧問との関わりはわからない。 <p>■中心市街地でビジネスを始めたいという声はありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業種や業態にもよるが、初期投資は難しい。自宅を商売の拠点とする事例が最近が多い。そこから次の段階へ行くケースもあまり多くない。 ・中心市街地の可能性として、構想にあるシェアオフィスやコワーキングスペースは、少ない初期投資の中でも存在感を出せる商売の仕方として、そこからの成長が期待できる。今はそういう場がないので、これから中心市街地で展開していくことは絶好の機会だと捉えている。 <p>■特任顧問に、ここだけは直してほしいとか、要望・意見があればお聞かせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとつだけ言うなら、もう少し早く行動してほしい。ワークショップで話していることは皆が10年前から思っていることで、それを誰がやるかということをもう少し早く進めてほしい。 ・特任顧問には、この1年間で持てるパワーを出していただいていると思う。行政手続きという

部分もあるが、それに則った、あるいはそれ以上の動きの中で進めてもらっている。どちらかという民間側がなかなかついていけない。会議所としては、引き続き地域の事情を知ってもらいながら伴走してもらいたい、せっかくの変わり目なのでしっかりと一緒に動いてもらいたい、というのが要望。

- ・この1年間限られた時間の中でよく動いていただいている。ただ中心市街地活性化は非常に大きなこと。中心市街地の中でのコミュニケーションはすごく積極的に取られているが、他のエリアとの関係では少し不足していると感じる。今後その部分で一緒にできるといいと思う。

■ 特任顧問がこの1年間で打ち出した提案・政策についてご意見をお聞かせください。

- ・政策には賛成しているが、誰が経営するのか・誰がとりまとめていくのか。「はんだのたね」が担っていくといいと思うが、まだ実感としては薄いと感じている。
- ・特任顧問の考えの、エリア分けや拠点施設等に関しては、十分理解できる。そこに向かう気運を地域全体で作るということが、これまでほぼ動けなかった地域の刺激になっている。
- ・誰が担い手になっていくかという人づくりの部分、一人一人の覚悟というか、自分たちが変えていくという認識を持って進めていくことが求められる。
- ・施策は賛同していることが多い。その施策はゴールではなくスタートなので、その先にどう未来が待っているか、地域側も明確に見いだせていないのが現状。その先の未来を考えていくことは特任顧問ではなく自分たちでやることのようにも思う。

■ 半田らしさや、他と違う点など、地元感覚でどう感じているかお聞かせください。

- ・周りからよく聞くのは「やっぱり半田だ」とか「半田が中心」という声。知多半島の中心だという自負がある街。産業も歴史があって質も高い。消費に関しても質を理解できる街。地元で元々ある店舗を、地域の消費者が支え・利用する文化がある。
- ・半田の400年ぐらいの歴史の中で、今回のJR高架化は100年に1度の大きな機会。半田は歴史や文化、山車の祭礼を経て街へのプライド、誇りの高さがある街。中心市街地は自信の喪失を繰り返しているの、今は街を誇りに思わない人が増えていると感じるが、この機会に変わっていくといいと思う。

■ 「歩いて楽しい街」に関連して、交通面でのニーズや要望があればお聞かせください。

- ・顧客からは、バスの路線や駅の階段のことで不便だという声は聞いたことがある。キックボードやシェアレンタルは、将来に向けて若い人が取り組むなら応援したい。
- ・中心市街地と他のエリアの接続は課題に感じている。公共交通でも車でもハードルがあり、遠隔地からの接続も年々弱くなっていることは、観光協会としても課題だと感じている。

■ どうやって担い手を見つけていくのか、感じていることがあればお聞かせください。

- ・中心市街地にある3つの商店街からリーダーが出てきてほしい思いはある。これから本腰を入れて踏み込んだ話し合いをしていきたい。

■ 観光面で期待することがあればお聞かせください。

- ・100年に1度のこの機会は、広域集客を今までよりぐっと広げる大きなチャンス。半田運河周辺では、チャレンジできる場がない。今回の動きで、チャレンジしたい人の場を作っていくことが大事だと思う。

■ 若い人が街づくりに参加するために、やりたいことはありますか。

- ・これから若い人に担ってほしい。そういう人がいれば、行政や会議所や特任顧問とコンタクトをとって、お互いコミュニケーションをとって進めていきたい。

	<p>・この半年間で若い人たちが動き出している実感がある。今の流れでいけば、活動が見えてくれば、若い人たちがもっと動くのではないか。そのために、先日のワークショップの中間報告会のように開かれた場で色々な活動をしていくことが大事だと思う。</p>
【評価結果発表】	<p>(高尾委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期待以上に精力的に活動されている。地域が主体的・持続的に取り組む仕組みづくりの下地作りができています。低未利用地の活用も、モデル的な取り組みの準備が進んでいる。魅力ある店舗の誘致は、初年度なのでこれからだが、知多半田駅に保育園と歯科医院が出店する話もあり、気運が高まっている。ワークショップやセミナー、個別対話を精力的に積み重ねていて、若手の気運も高まっている。地域ニーズに幅広く応える方向で取り組みが進んでいる。 ・改善点としては、地域ブランディングの視点が必要。半田らしい何かをどう表現していくか、はこれからの課題。今後、マネジメントできる人の育成・発掘が課題になる。 ・大きな公共事業が進んでいく中で、ハード整備とソフト事業との調整が非常に重要になる。調整や意思決定の仕組みの構築が、半田市としての大きな課題だと思う。ハード整備に関する専門的な支援体制が現状は希薄なので、充実していく必要がある。あとは情報発信体制の充実が必要。
	<p>(松井委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皆さんに協力いただく中で、本当に頑張っていて、成果が出る流れを作っていると感じた。 ・昨年特任顧問が全国の 200 人以上の応募の中から選ばれたことは、もっと注目されてもいいはずだが、控えめな印象。全国から半田の中心市街地活性化が注目を浴びるような気運を作ってほしい。 ・地域住民の継承の点では「やりすぎでない」ことが大事だと思う。スピード感が欲しいという声があったが、これはいいことだと思う。この 1 年間でそういう環境を作ってきたと評価する。
	<p>(副市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低未利用地の活用や、魅力ある店舗の誘致については、地域を巻き込んで仕組み作りをしているところ。多くの地域住民のニーズを汲み取っていると思う。地域住民の継承については、将来的な自立ができるか心配がある。 ・活動実績については問題ない。庁内外でワークショップを開き、特任顧問の考えが共有されている。コミュニケーションの面では庁内での意見交換や地域にもよく出向いている。
	<p>(企画部長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジョンづくりができています。ビジョンを実現していく人の姿がまだ見えてないものの、方向性は合っている。セミナーやワークショップで人材を発掘する姿勢はいいが、それ以外の手法も検討してはどうか。地域住民の継承については、これからだと思っている。地域とのバランスについては、地域の人の意思を尊重しながら進められていると評価している。
	<p>(市民経済部長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域が主体的・持続的に取り組む仕組み作りや、低未利用地の活用については、地域に入ってじっくりと話をして確実に実施できている。魅力ある店舗の誘致はこれからの部分だが、方向性や考え方が見えてくるといい。ビジョンの実現に向けて、様々な施策の提案をしてきている。
【意見交換】	<p>(高尾委員)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地に集中している取り組みのアプローチを、もう少し広域的に、半田市内の他のエリアや知多半島といった広域からの視点での取り組みを将来的に考えていく必要があり、その中で地域ブランディングの考えも大事になってくる。 ・伊藤大海チームをどう充実させていくのかが、半田市役所もしくは地域にとって非常に重要なポイント。今のメンバーで最大限やっているが、今後事業が展開していけばもっと人手が必要になる。庁内・庁外のチームの作り方を議論しなくてはいけない。その中でもハード整備と中活事業との連携・調整というのが重要な課題。特任顧問ではなく市役所側の議論になるので、評価委員としても課題を指摘しておきたい。 <p>(松井委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い事業者さんや、女性のキーマンの話があまり出てこなかったように思うがどうか。 <p>(特任顧問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回「はんだのたね」という会社が立ち上がって、その中の女性メンバーは、街づくりについて話をする中で関心を持っていただいて街づくり会社に関わっていただくことになった。広い範囲で若者と接しているとは言えないが、キーになる若手とは交流できていると思う。 <p>(松井委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半田市の中活が全国から注目されるような派手なパフォーマンスもあっていいのでは。 <p>(特任顧問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根底としてあるのは、自分が目立つのではなく、地域の人が「自分たちでできた」というのを応援するのが使命だと思っている。プロモーションの部分は、市の広報部門にやってもらうのも一つの方法かと思う。 <p>(高尾委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人ではなく、チーム伊藤でのプロモーションもいいかもしれない。半田市で「何か起きているぞ」という雰囲気や域外に発信できると、半田で何かやりたいということが起きやすくなる。
評価結果発表	<p>(副市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価委員会では高評価とし、評価内容を市長へ伝える。